



南さつまキリスト福音教会  
海での洗礼式と自宅での洗礼式

## 献身の証し

米原キリスト福音教会牧師 中村治子



私が高校生の時、学校に「国際ギデオン協会」の偉い方が来られ、「新約聖書」を贈呈されるといいます。生徒は講堂に集り話が終わると、皆一冊ずつもらって帰りました。

私と聖書の出会いはこの時でした。英語と日本語の対訳になっていたもので、勉強になると思い、家で読み始めました。でも、「カタカナ」の人の名前がずらずらと書かれていますので、「何だろう?この本は?」と本棚にしまっていました。それから一年、私は学校を卒業し、大阪の大きな会社の事務職に就職しました。ある日曜日の朝、同じクラスの友達だったSさんが「今私は教会に行っている。中村さんも一緒に行かない?」と誘いに来ました。別に日曜日はすることもなかったのですが、「そしたら行くわ」と学校でもらったバイブルを持って二人で出かけました。現在、Sさんは牧師夫人です。

私は独身の婦人牧師です。話は元に戻りますが、私が大阪の会社に行くのに、京都駅で電車乗り換え、茨城方面の電車に乗るのに、

かけ足で階段をのぼっていました。走りながら、ふと上の方を見ると骸骨が背広やワンピースを着て群衆となっていました。「瞬「ドキッ」とし、まばたきをしました。背後から「この人は死んでいる」という声がかさず後を振り向きましたが人はおらず、骸骨の群衆も見えませんが、私は「こわい」と思いましたが、同時にこれは主イエス様からの語りかけであり、召しにかかわる事だと、靈感で判りました。

それからそれまでよりも熱心に教会の集会に行くようになりました。そして、また不思議に私の周りの環境や状況が、伝道師になるようにと道備えができていました。宣教師の先生や日本の先生たちにも認められ、按手をもって祈り祝福して下さいました。そして福音を伝える使命に献身することになりました。KBIにも一年半ほどお世話になり、又別の学びをさせていただきました。現在は、もう年も取りましたが神の救いの福音を伝える働きを喜びと感謝をもって奉仕させていただいています。(ローマ8・28)

## バングラデシュ HOP (ホーム・オブ・ピース) レポート

HOP 理事長 アルバート・ムリダ

バングラデシュのコロナの状況は以前より良くなり、感染率、死亡率ともに低下しています。人口の6%しかワクチン接種をしていませんが、政府は来年の12月までに20%の人に接種する計画です。ただ、楽観視はできません。人々は意識せず、いまだにマスクなしで移動しています。国内の多くの人がマスクを使いたがらないのです。

1年半封鎖されていた学校や大学は9月12日に再開しました。ロックダウンや移動の問題で家にいた子どもたちは、HOPに戻り始めています。現在、418人の子どもたちがHOPにおり、戻れたことを喜んでます。病気の子どもや保護者もいますので、治ってから戻ってくる子もいます。試験はまだ政府から発表されていませんが、11月末か12月初旬に行われるかもしれません。

HOPにいる子どもたち、これから戻ってくる子どもたちの安全のためにお祈りください。季節性のウィルスで体調を崩している子どもたちのためにもお祈りください。

特に子どもたちの食堂のためにお祈りください。9月28日の嵐で、食堂の屋根が吹き飛ばされてしまいました。地元のエンジニアを呼んでチェックしてもらいましたが、安全のために、屋根をすぐに撤去するように提案されました。29日から撤去を開始しました。今週中に食堂全体を撤去する予



定です。子どもたちは28日からチャペル(礼拝堂)で食事をしてます。今、子どもたちのために食堂を作ることが急務です。天と地のいっさいの権威をもっておられる神が、子どもたちに食堂を祝福して下さることを祈っています。

HOPの先生やスタッフの数名がワクチンを受けていないのでお祈りください。登録はしていますが、今に至るまで接種日が決まっていません。教育省(文科省)は、すべての教師がワクチン接種を受けるべきだと宣言しました。しかし国内でのワクチンの不足と手続きの遅さのために非常に困難です。

HOPの子どもたちへのお祈りとご支援を心より感謝いたします。(翻訳:小山英児)

## 九州キリスト災害支援センター(略称:九キ災)の働き

2021年8月11日頃から九州北部、広島県などを中心に大雨が降り続き、線状降水帯の影響で土砂崩れや浸水被害が発生し、九州キリスト災害支援センター(九キ災)は佐賀県武雄市に武雄ベースを設置し、被災地への支援活動が始まりました。現地からの活動報告をここに掲載します。(中見)

### 佐賀県武雄ベース活動報告

「本日は2軒のお宅での作業でした。

ボランティア6名、スタッフ2名でした。本日より3日間YNFさんから新たにスタッフを1名(PCR陰性)送っていただいています。感謝です。

・旧グループホームでは、石膏ボードの搬出が全ての部屋で完了しました。残すは、床の拭きあげ、壁下地の消毒です。今日初めて参加されたボランティアの方も汗だくになって労してくださいました。

・併設の住宅では、根太のスチーム作業を行いました。KGKからのボランティアの方が根気強く進めてくださいまし

た。また、ずっとそのままにしていたタンスを移動させ、カビの拭き取りも行いました。

途中、電気が止まるなどのアクシデントがありましたが今日から派遣されたYNFさんのスタッフが元電気工事士だったため、電力会社への連絡など素早く対応して下さり感謝でした。続いてお祈りください。」

<https://congrant.com/project/kyuki/1628>



TPKF災害支援献金口座 郵便振替口座:00790-7-46083 口座名義:TPKF

銀行口座:三菱UFJ銀行 出町支店 店番号506 口座番号 0668994 口座名義:置田信也

2020年TPKF災害支援口座より「九州キリスト災害支援センター」に513,450円送金致しました。(TPKF本部会計 稲葉基夫)

## 子育て奮闘記

京都キリスト福音教会宣教師

吉田恵利子



伝道・牧会・宣教の歩みの中で、次々と起こる試練と困難。結婚した後、主人は大きな手術前後の長期入院生活が始まっていたところでした。私は、看病と福音の家の働きの中で、神様から最初の子どもが与えられました。胎に宿した時から、お腹の子どもに語りかけ、祈り賛美し、励ましながら主に従って困難を乗り越えさせて頂いて来ました。

私たちは、宣教の働きのため、主の導きの中で京都からシアトル、香港へと移ることになるのですが、最初の子どもは、京都で生まれましたので、今は亡き母から出産後の世話や入浴など、私ひとりでも手順良く出来る方法と、母の手作りの育児観察記録ノートを記帳することを教わりました。この記録により、体調の変化がすぐわかり、判断の助けになりました。



加えて、松田道雄著「育児の百科」という本が与えられ、大きな助けとなりました。著者は小児科医で、育児をする父母の立場で書かれており、不必要な不安を取り除いてくれました。妊娠から出産、各月齢～6才までの心と身体の発達と成長、病気などが書かれています。

日本、アメリカ、香港と、気候・風土・文化・考え方の違いで、同じ状況でも対処の仕方が全く違います。日本ではカゼをひき熱が出るとお風呂はダメです。アメリカでは子どもがカゼで熱があると「お風呂に入れてください」と言われ、カロリーの高い質の良いアイスクリームと、ビタミンCを取るためにオレンジを食べるように言われます。香港では身体を冷やすアイスクリームを食べてはダメ。オレンジはダメ。「熱が出切った後にスイカを食べさせるように」と言われます。アメリカでは身体が動きやすい服を着させ、香港では布でグルグル巻きにして、身体を冷やさないように、と言われます。

アメリカで、三番目の子どもの出産を間近に控えた頃、主人は長期間の宣教旅行に中国へ出かけて留守の時がありました。帰って来るまで無事かどうかさえも分かりません。家では主人の席を決めて、毎日子どもたち（当時長男啓示が6才、長女摂理が3才）と家庭礼拝をし、主人のために執り成し、祈り、場所は離れていても祈りで身近に父親を感じるようにしました。淋しい思いをしないように、話題にも度々取り上

げて工夫をして過ごしました。エペソ書5章にあるように、神様の次は父親が大切で、たとえ不在であっても父親の権威を守ることは子どもにとって大切なことです。また、夫婦の問題は子どもたちに影響を与えないように、主の前に祈り解決していくようにしました。

大学時代、教職の教育心理学で学んだ学術用語としての「アイデンティティ確立の重要性」が心に残っていました。シアトルの神学校でも学びの中で、宣教師の子どもの問題に、アイデンティティ・クライシス（自己認識の危機）があることを学びました。異文化の中で成長する子どもの心を見守り励ます必要を学びました。

三番目の子、宣教はシアトルで、四番目の子、成達は香港で生まれました。4人の子どもたちは異文化間を行き来し、悩み、苦しむことも多くありました。



一時帰国で京都に帰った時、三番目の子、宣教は保育園でザリガニ釣りに行くことになり、お父さんに「いっぱい釣って来てね！」と、送り出されました。お父さんの期待に答えない一心で、ザリガニを釣ろうとしても釣れません。お友だちが「釣れた！」と言うと、そこへ飛んで行って釣り糸をたらし、また別のお友だちが釣れたというところに行くということを繰り返しましたが、一匹も釣れません。悲しみに打ちひしがれて帰宅しました。このままではいけないと思いお祈りしました。



次の日、保育園の先生にザリガニ池の場所をお聞きし、後日家族揃ってザリガニ釣りに！ 宣教くんはバケツいっぱいのザリガニを釣ることができました。喜びに満ち溢れ、達成感を持つことができました。

子どもは、幼い時から神様からお預かりした尊重されるべき個人として育ててきました。経済的には苦しい中でしたが、お友だちが家に来て遊ぶ時は、お菓子作りをしたり、工作をして遊べるようにしました。また、おもちゃなどは質の良い物に制限し、豊かな気持ちで過ごせるように工夫しました。

躰は厳しく、誠実に忠実であるよう見守りました。子どもたちがそれぞれ個人的に主の御心を祈り、主を愛し、従って歩み続けるように今も祈っています。

いつも私たちのことを覚えてお祈り、お支えくださっている皆様に感謝します。

## あかし



## 信仰に生きる幸い

小浜キリスト福音教会 石田 順子

私は働きながらの看護学生だった時、ラジオを聴いて福音放送に出会い、そのとき心に平安を覚え、聖書通信講座を受けるようになり、学ぶ中教会を紹介されました。

私は教会で喜びと励ましを受け、ある日鮮明に次のみ言葉が与えられました。

「患難さえも喜んでいる。患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出すことを知っているからである。希望は失望に終わる事はない。」(ローマ 5:3~5)

働きながら学ぶ私の人生に、イエス様は折にかなった助けをして下さり、力と勇気を与えられ、み言葉を信じ、救われました。結婚式も教会で挙げ神様の祝福を受け幸いでした。

しかし結婚して小浜に移り住んで仕事復帰、子育てなどで、家で聖書を読んでいればと傲慢な気持ちで数年間教会を離れてしまったのです。でも、神様は忍耐強く私が主に立ち返ることを待って下さり、ある朝「教会へ行きなさい。」と示され小浜の教会に導かれました。

再び神様の愛と喜びに触れ、以前にも増して、イエス様の十字架の贖いを強く感じ、主の前に悔い改め、再度救いの確信を与えられ、「人の心は神によってしか満たされない空洞が空いていて、神以外の何者をもってしても満たすことが出来ない～」と読んだ言葉がありましたが、心から真実だと思い、イエスさまのもとに立ち返れた恵みに心から喜び、多くの方の陰の祈り、神様の大きな愛を感謝しました。

結婚した時には主人はクリスチャンではありませんでしたが、今は信じ救われ共に喜んで教会に集い、信仰に生きる幸いの中で天国の希望を抱きつつ、主に感謝しながら日々過ごしています。

## カルテット・ベセルの働きに導かれて 栄シャローム福音教会 小山 勇児

今から18年前、小学校に上がりた頃の頃に『パッション』という映画に出会いました。この映画はイエス様の十字架の出来事を描いたものです。どうしてイエス様が多くの血を流して十字架にかかる必要があるのか、当時の私は疑問に思っていました。父に「なんでイエス様は十字架にかからなきゃいけないの？」と尋ねると、父から「それはね、ゆうじのためだよ。ゆうじが天国に行く事ができるように、十字架にかかってくれたんだよ。」と答えてくれました。イエス様が私の為に死んでくださった事を知って、イエス様を信じていきたいと思いました。

幼き頃からイエス様を信じて生きていくことを通して沢山の祝福を体験できました。その中の1つが、今活動している弦楽四重奏団のカルテット・ベセルの働きです。このグループは教団・教派は違いますが、東京藝術大学と桐朋学園大学出身の4人で構成されています。もともとこの4人はクリスチャン音楽家の集いである、ユーオーディアの働きの中で出会いました。ある日私は、夢の中でその4人でカルテットを組み伝道をする姿を見ました。きっと私の勝手な願望だと思いましたが、祈り温めておりました。ところがその数ヶ月後に同じ夢を見て、これは神様から示されていることを信じメンバーに連絡してみたところ快諾してくれました。

結成してから約3年が経とうとする中、カルテットの集大成として2022年3月21日に東京の早稲田奉仕園にてカルテット・ベセルのコンサートを行う事も決定致しました。福音を伝える為に私達にとって新たな挑戦でもありますので、お祈りに覚えて頂きご来場頂けましたら誠に幸いです。

私が心に留めている御言葉は箴言3:5~6です。「心を尽くして主により頼め。自分の悟りに頼るな。あなたのゆく所どこにおいても主を認めよ。そうすれば主はあなたの道をまっすぐにされる。」ハレルヤ！ 主よ感謝します！



## ■ オンラインでのジョイフルタイム 〈イースト〉



子どもたちの「ジョイフルタイム」が今年はオンラインで行われました。お祈り、ダンス賛美とゲーム、イエス様のお話を聞きました。ザアカイのお話から、「一番大切な出来事はイエス様と出会ったこと」というお話を聞きました。私たちがどれだけ良いことをしても真っ黒になってしまった心は完全にきれいにはならないけど、イエス様のおかげで全部きれいになるというお話でした。必要なことはひとつだけで、簡単なこと。イエス様が救い主だと信じること。たったそれだけで、ザアカイのように、嬉しくなって、全く変わります。神様が大きな犠牲をもって、私たちを愛してくださっていることを受け取ることができました。次回は一緒に同じ場所で楽しく礼拝ができることを、主に願い、期待します。

(町田純福音教会 石井すみれ)

## ■ 主の御手の中

〈FCMF〉



敦賀自由キリスト教会では感染対策しつつ、賛美もメッセージも短縮し、十数名で礼拝を持っています。昨夏、県の独自宣言に伴い最も厳しい時には、教会員の大半である高齢者と基礎疾患のある方々に加え、職場や家族の事情で礼拝出席を控える方々があり、30分程の礼拝を会堂とLINEビデオ通話、また電話を繋ぎ、更に週報を見ての自主礼拝と計5か所で同時礼拝となりました。それは、どこでもどんな状況でも主を礼拝できる良い体験でした。この最中に親子が教会に導かれ、青年が救われ、クリスマスに向けて洗礼の準備をしています。今は、オンラインでの交わりや伝道、会堂での

## ■ KBI

ハレルヤ！ いつもKBIを覚え、祈り支えてくださっていることを心から感謝いたします。

昨年からのコロナ感染拡大に伴い、KBIもこれまでに経験したことのない問題と直面してきました。その都度、学生達と祈り、考え、そして“今だからできる宣教”という一つのテーマに導かれてきました。2学期は、全員在宅オンライン（9月末まで）という、これまた経験したことのない状況からスタートしました。しかし、“今だからできる宣教”というスピリットはいよいよ新たにされ、前進しています。

世の中がどう変化しようとも、掴んだ福音の輝きはなんら色あせることはありません。宣教へのパッションは脈々と受け継がれています。42名の“召された器”たちがそのことを体現してくれています。「十字架・聖霊・そして宣教」、KBIは今日も活気に満ちています！

(関西聖書学院舎監 富浦信幸)

礼拝拡大を皆で相談しつつ前進しています。今日も、主の御手の中にいます。

「私は主に申し上げよう。『わが避け所、わがとりで、私の信頼するわが神』と。」(詩篇 91 篇 2 節)

(札幌みどり)

## ■ 新教職者紹介

〈キリスト福音〉

大阪キリスト福音教会・名古屋伝道所 今田雄司副牧師



私はクリスチャンの女性と結婚し、妻に導かれ洗礼を受けました。20年後召命を受け、聖書学校で学んだ後、昨年大阪キリスト福音教会の副牧師に任命されました。

現在名古屋伝道所として自宅を開放し、家族のような温かさのある中、毎週礼拝をささげています。また毎朝聖書通読をメール配信し、賛美会でみ言の分かち合いをしています。

南さつまキリスト福音教会 有馬陽介牧師

1976年大阪府東大阪市生まれ。2012年南さつま市に移住。2012年4月教会に導かれ、9月夫婦で水のバプテスマを受ける。関西聖書学院の通信課程を終了後、2018年4月同学院二年に編入学。2020年3月同学院卒業後、伝道師に就任。2021年8月牧師に就任。現在、福祉関係の仕事に就きながら教会の働きに従事。一男一女の四大家族。



津嘉山ファビオ&エリザベス宣教師

私たちは9人家族で、子どもたちはジョシュア(19)、ドミニキ(17)、イスラエル(14)、ヨハン(13)、オリビア(9)、アンナリス(7)、ありさ(1)です。町田純福音教会で3年半お世話になった後、今年5月、長崎県長与町の開拓伝道を始めました。これまでプロテスタント教会が無かった地で、自宅での日曜礼拝を始めています。すでにたくさんの人との出会いがあり、主に期待しています！どうぞ、お祈りください！



# 教会紹介

## 金沢フィラデルフィヤ教会

所在地：横浜市金沢区平潟町26-22

私たち金沢フィラデルフィヤ教会は、約70年ほど前に米国の宣教師ご夫妻によって、その働きが始まりました。この70年の間には、日曜学校に通ってくる子供たちが100名以上になり、2階を増築したり、教会堂が火事によって、焼失してしまうということもありました。しかし、どんなときにも、神様が共におられ、多くの方々の助けと祈りによって、支えられて参りました。今日も、和気藹々と、少数精鋭の信徒さんと共にきたるべきリバイバルを願って活動しております。（宮崎一実）



## 勝山自由キリスト教会

所在地：福井県勝山市昭和町1-10-5

1951年にノルウェー宣教師によって開拓が始められ、60年になります。現在は無牧ですが、地域に開かれた教会でありたいと、必要に応じて地域の方々に開放しています。ただコロナウイルスの感染予防のために、礼拝を休むことが多くなり、教会員で共に祈りの日々を送っています。（伊藤文孝）

# 教会情報

### ■南さつまキリスト福音教会

9月 有馬陽介牧師就任

### ■守山キリスト福音教会

9月 津嘉山ファビオ宣教師・エリザベス宣教師就任(長崎県)

### ■甲府カルバリ純福音教会

10月末 与久田幸春牧師・太美伝道師退任(療養のため)

《来日》 シニヴィルタ・タネリ、梨絵宣教師夫妻が再来日されました。山科キリスト福音教会に一時滞在中。

【訃報】 長渡昭子元伝道師 4月21日召天  
レア・カルナ元宣教師 9月24日、96歳で召天

# 書籍紹介

## 愛はあきらめない

横田早紀江著

いのちのことは社フォレストブック

926円+税



1977年、当時中学生だった横田早紀江さんの長女のめぐみさんが突然行方不明となり、20年後北朝鮮に拉致されたことがわかった。苦悩の中で友人の勧めで聖書と出会い、ヨブ記1:21のことはすべてを支配される神様を知り、クリスチャンとなる。この本は母である早紀江さんの希望の告白であり、最後まであきらめない祈りのことは、苦しむことの価値が記されている。（中見透）

### 単立ペンテコステ教会諸教会（名簿順）

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会  
横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター  
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会  
秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会  
甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ  
いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / ブンキョウゴスペルセンター  
松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会  
グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル  
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレースチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会  
瀬戸サレム教会 / 大阪キリスト福音教会名古屋伝道所 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会  
田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会  
雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会  
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会  
須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスにお願いします。 [pentecost@tpkf.org](mailto:pentecost@tpkf.org) TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>

